

「合併問題」は 最後まで希望を持って



浜田 等議員

議員の方々とも数回の話し合いも持ち、合併に向けて努力を続けているが、町長は、祁答院町長とじっくり話し合われたことがあるのか。また、取り組みの具体策について伺う。

**希望を捨てずに
粘り強く対処したい**

北村町長 今村祁答院町長とも、直接会って話しもした。また、関係の方々とも、数回会って話しました。
現状におけるの理解は難しい。しかし、住民の方

々には、四町合併の意向も強いと聞く。祁答院町議会の最後の議決まで、希望を捨てずにねばり強く対処していきたい。



第7回 薩摩東部地区合併協議会の協議状況 (H15.10.8)

料金を実質的に割り引く「原子力立地給付金」が給付されているようであるが、本町への財政的な援助など、まったく措置されていない。そこで、このことに対する隣々接市町首長等の動き、また、町民の生活を守るため、行動を起こすべきではないかと思うが、町長の考えを伺う。

**隣々接市町長とも
連携し行動を起こす**

町長 原発環境調査についての連絡もないので、現段階では、特に首長等の積極的な行動はない。しかし、今後、環境調査の進捗に伴って、事は大きく展開していくことが予想される。従って、隣々接市町の首長方とも、十分な連携をとりながら、行動を起こすことになると思う。ご指摘のことは十分考慮しながら、真正面から対処していきたい。

原発環境調査開始への対応策は

浜田議員 川内原発三号機増設問題については、県内各市町村から、県民

の安全と農林漁業への影響回避を考慮し、将来への負遺産を残さないため

に、反対運動が展開され、環境調査は頓挫した形になっていたが、いよいよこの十月から、環境影響三調査が始まった。調査が完了すると、三号機増設問題が浮揚する。あちこちで発生している原発事故など見るときに、隣々接市町ゆえに大変心配している。また、川内市や東郷・植脇町には、電気

料金を実質的に割り引く「原子力立地給付金」が給付されているようであるが、本町への財政的な援助など、まったく措置されていない。そこで、このことに対する隣々接市町首長等の動き、また、町民の生活を守るため、行動を起こすべきではないかと思うが、町長の考えを伺う。

合併問題について、住民が望む最も理想とする枠組みについては、最後まで希望を持って対処していきたいと表明している。我々議員は、祁答院町の